

数々修習

vol.26

夏号
令和二年七月一日発行

- ・住職からのご挨拶
- ・孟蘭盆会万燈供養のご案内
- ・待望の納骨堂・来春完成
- ・五月大祭のご報告

数々修習とは？

道を求める事、つまり見道・求道を繰り返し繰り返すという意味です。私住職もこのお便りと一緒に熟していければと思っています。

発行元 本蔵院「数々修習」編集室
〒860-0811 熊本市中央区本庄6-15-50 TEL.096-364-4848 FAX.096-364-9570

熊本地震、コロナ禍を経験している私たち

**信仰のある生活を送りつつ
元気にたくましく、健やかに過ごしましょう**



第二十住職 蔵本崇正

梅

雨明けが待たれる今日この頃、檀信の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。少しづつ日常を取り戻しつつあるとはいえ、新型コロナウイルスという未曾有の災禍の中、ご苦労はいかほどかと拝察いたします。

さて、当山では皆様の健康と疫病退散の祈りを込め、五月二十一日より二十二座の護摩供を行いました。お手元にお届けしました御札は御本尊の分霊でございます。どうか朝夕に手を合わせていただきますようお願いいたします。

なお、先日御札の配り方について檀信皆さまからおたずねがございました。今回の紙面で詳しくご紹介しておりますので、ご覧ください。

また、皆様には大きなご報告がございます。当院が運営しております「公園墓地 菩提樹苑」が、一九七〇昭和四五年の開苑から五十年という節目を迎えました。私の祖父、本蔵院第十八世の亮弁法印が開いたこの霊園は、今や熊本県最大の墓数を誇り、多くの方々の安住の地として後世へ受け継がれております。そしてこの五十年を機に、以前より計画い

加えてのお知らせとして、八月には例年通り「孟蘭盆会万燈供養」を厳修いたします。開催については悩む部分もございましたが、細心の注意を払った上で執り行うことといたしました。疫病で亡くなられた方々への追悼という思いも込め、心静かに勤めてまいります。また、お盆の棚経をご希望の方はお早めにお知らせください。

熊本地震、このコロナ禍という災難を経験しつつも、たくましく育っている子どもたちに負けないよう、我々大人が元気に健やかに過ごすことが大切です。今後も何とぞ信仰のあるご生活をお送りください。

令和二年七月吉日
第二十住職 蔵本崇正 拝

NEWS 01

本蔵院からのお知らせ

**8月9日(日)に今年も厳修
孟蘭盆会万燈供養**

4年前から、お盆の法要「孟蘭盆会万燈供養」を菩提樹苑内の鐘楼堂広場で行っています。この法要は檀信徒様だけではなく、菩提樹苑にお墓を建立された方々、沙羅の苑のペットちゃんとお飼主様、そしてこのたびの新型コロナウイルスで亡くなられた方など、当院に縁のある方、ない方すべての総供養法要です。今年も風笙(笙)奏者の井原季子さんの奉納演奏を予定。夜の闇に包まれていく中、本蔵院の僧侶の声明(しょうみょう)や、笙の音が響き渡り、一帯が幽玄の世界に引き込まれることでしょう。ぜひ皆様でご参拝ください。

孟蘭盆会万燈供養

《日時》	《式次第》
令和2年8月9日(日) ・18:00 開場 ・18:30 開式 ・20:00 終了予定	一、献燈、献花 一、読経(焼香) 一、風笙演奏 (井原季子さんによる雅楽演奏)
《場所》	一、梵鐘一撞 一、住職挨拶
菩提樹苑鐘楼堂広場	

- ※塔婆供養や献燈については事前のお申し込みが必要です。同封の書類にてお申し込みください。
- ※駐車場をご用意しています。係員の案内に従ってください。
- ※少雨決行です。
- ※詳細については同封のチラシをご覧ください。
- ※本蔵院から菩提樹苑までの送迎車がございません(当日17:30集合)。希望の方は必ず事前に申し込んでください。連絡がない場合、ご乗車できない場合がございます。
- ※会場は、行政の新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドラインの通り、細心の配慮をいたします。



NEWS 02

リクルートサイト近日公開!

本蔵院と菩提樹苑、沙羅の苑では、随時職員を募集しています。情報を発信する採用専用サイトを近日公開予定です。テーマは「いのち輝く」働き方。ご興味を持たれた方がいらっしやいましたらぜひご覧ください。

※画像は製作中の画面です。

スマートフォンでもチェックできます!

【リクルートサイト】
<http://www.honzouin.or.jp/recruit/>



菩提樹苑開苑五十周年に合わせ、来春オープン
待望の菩提樹苑「納骨堂」
先行予約受付中です



※画像は製作中の表紙です

菩

菩提樹苑の開苑五十周年という節目に合わせて、新たに納骨堂(屋内霊園)を建設中です。完成は、令和三年の春を予定しています。

開苑以来、「故人に対する尊敬を失わず、かつ今の時代に即したご供養とは？」という問いは、常に私たちの中にありました。今回建設中の納骨堂こそが、その答えとしてご提案したいものです。

耐震性にすぐれた納骨棚のご遺骨の保管や、将来も無縁墓にならないといった点、故人の音や動画を未来に残せる最新のシステムの導入が大きな特長です。熊本地震という大きな災害を経験した私たちだからこそ、免震性にもしっかりとこだわりました。小さな子どもたちからご年配の方まで集

いやすい、近代的でバリアフリーを考慮された明るい納骨堂。きっとこれまでの「暗い」「怖い」といったお墓参りのイメージを変えることと思います。私たちの納骨堂が、核家族文化が進む現代において、未来に「お墓参り」の文化を伝えるための場所になると信じています。

このたび、本蔵院の檀信徒様向けの先行予約を受け付けております。檀信徒様に限り、通常「基五十五万円のところ、特別価格四十五万円にてご案内しております(令和二年十二月末まで)。興味をお持ちの方は、同封のパンフレットをご覧ください。本蔵院もしくは菩提樹苑までご連絡ください。



▲あらゆる方に安心してご参拝いただけるようバリアフリーの設計。エレベーターの設置ほか、スロープや多目的トイレなど充実した設備が整っています

▲内装は光を多く取り込む開放感のあるつくり。さらに感染症対策として、すぐれた換気設備を導入。換気にも気を配ります

五月の大祭無事厳修いたしました

「疫病退散」の御札



前

回の数々修習でお知らせしました通り、五月の大祭不動護摩供は、五月二十一日から二十八日まで前行を含む二十一座を厳修し、無魔成満しましたことをご報告いたします。住職が一座二座、疫病退散と病災平癒を一心に祈りました。また五月の大祭では、本蔵院で眠っていた版木で作った「御祈禱」の札をご祈願し、各家一枚ずつお配りいたしました。ご家庭の玄関に貼っていただき、ご家族のお守りとしていただければ幸いです。もし、追加で御札を希望される方はお申し出ください。

篤い、皆様の信仰心

今回の護摩供は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、基本的にはご参拝をご遠慮いただくことといたしました。ただ、三月、四月とご参拝ができない月が続いたため、ご希望の方は二十一座のいずれかに分散してご参拝いただくという形といたしました。そのため、二十一座のうち、檀信徒の皆様にご参拝いただいた座もございました。「こんな状況だからこそ祈りたい」といった皆様の信仰心を強く感じられました。

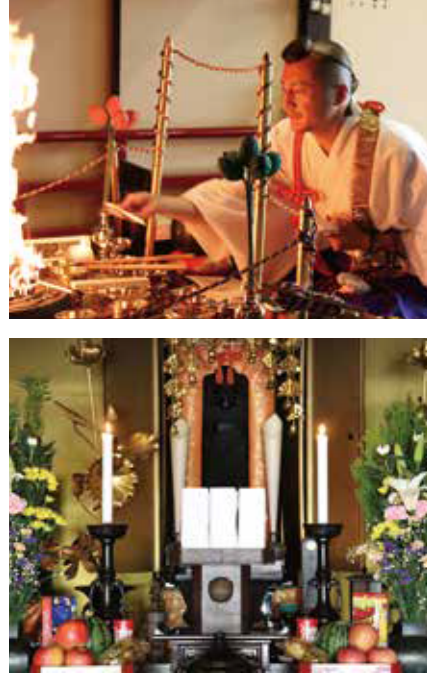
数名ずつのご参拝でしたので、座の後は一人ひとりゆつくりとお話もできました。中には「いつもはたくさんの方の中での護摩供ですが、今日は一人だけ見られて贅沢な気分になりました」とおっしゃる方もいらっしゃいました。

気持ち託された護摩木

毎回の護摩供は、護摩木の数が多くなりますが、今回のお申し込みは私たちが驚くほどでした。特に、百八本の護摩木が一結びになった「百八支(ひゃくはっし)が多かったように思います。また二十一座を通した護摩木にもお申し込みが多数ありました。

数が多かったため通常の二倍、二時間を超える護摩行となりました。赤々と天井近くまで燃えさかる炎の様子に周りからは心配の声も上がったほど。灰も山のようにうず高く重なっていました。

檀信徒様から祈りの気持ちを託された多くの護摩木は、一つひとつ念じて智火に投火



いたしました。お申し込みいただいた皆様、誠にありがとうございました。

奇縁で戻ってきた御札

大祭では、当院に残された版木で御札を作り、皆様にお配りしたのはご存知の通りです。本蔵院ではこの版木で御札を作ったのは数十年前ぶりでした。

ところが不思議なことにこのタイミングで、版木が現役だったころの御札が手元に戻ってまいりました。当院が運営しております、ペット霊園「沙羅の苑」に来られ、初めて本蔵院の運営であることを知った方が「ずっと仏壇に祀ってあった御札を返さねば」と思っていたと写真の御札をお持ちくださったのです。確かに同じ版木の「御祈禱 本蔵院」の文字が見えます。お話によると、八十年近く前のものと。現存する最古の「本蔵院の御札」ではないでしょうか。黒く変色した御札に、歴史と不思議な縁を感じずにはいられません。



正しい御札の配り方

御札をお配りしたところ「どこに御札を貼ればいいのか分からない」といったご相談がございました。あらためて正しい御札の配り方をご紹介します。

大祭でお配りしたのは「疫病退散」の御札のため、悪いものが家の中に入らないよう、皆様が入りやすい玄関(屋内側)に貼ります。目線より高い場所がよいでしょう。方角は関係ありません。玄関上にスペースがないという場合は、玄関付近であれば構いません。貼る際は、御札より少し大きいサイズの白い台紙(コピー用紙や画用紙など)を用意。台紙の中央に御札を置き、御札の四隅に炊いたお米数粒を付け、のり代わりにして貼り付けます。台紙はピンで押しもテープで貼っても問題ありません。貼りやすい形で壁に固定しましょう。

【台紙の貼り方】



- ① 御札より一回り大きい台紙の裏に、御札の裏にのりをつけて、お米数粒を付けます
- ② しっかりと台紙に貼り付けます